

報道機関各位

令和7年12月8日  
北九州市危機管理室

## ～海上自衛隊の艦艇「あまくさ」寄港～ 大規模災害に備え、市と関係機関が連携強化

北九州市大規模災害対策連絡会の取組みとして、**南海トラフ地震**などの大規模災害に備え、江口副市長をはじめ、海上保安庁や自衛隊、警察、消防などの関係機関が、海上自衛隊の多用途支援艦「あまくさ」に乗艦し、災害時の支援体制を確認します。

同連絡会は、市と自衛隊で平成11年に発足し、今年10月には新たに**海上保安庁**や**海上自衛隊**、**警察**などを委員として加え、より多様な災害応急対策が実施できるよう体制を強化しました。今回が**新体制での初の定例会**となります。

記

### 1 日 時

令和7年12月15日（月）13：00～17：00

※取材可能時間 13：20～14：30

（海上自衛隊多用途支援艦「あまくさ」視察研修から副市長訓示まで）

時 間	場 所	内 容	取 材
13:20～14:20	海上自衛隊多用途支援艦「あまくさ」 （門司1号岸壁）	「あまくさ」視察研修	可
14:25～14:30	旧大連航路上屋2階ホール （門司区西海岸一丁目3番5号）	副市長による訓示	
14:40～17:00		意見交換会	不可

### 2 参 加 者

江口副市長、国土交通省（海上保安部・九州地方整備局港湾空港部）、  
自衛隊（陸上自衛隊・海上自衛隊・福岡地方協力本部北九州地区隊）、  
北九州市警察部、北九州市港湾空港局、北九州市消防局、北九州市危機管理室

#### 【問合せ先】

危機管理室危機管理課

電話：093-582-2110

担当：（課長）渡邊 （係長）八谷

## ◆ 大規模災害対策連絡会とは

### ≪北九州市大規模災害対策連絡会≫

北九州市内で大規模災害が発生した場合において、北九州市及び防災関係機関等が相互に緊密に連携し、防災関係機関等の災害応急対策等が円滑に実施されるための組織

設置当初は、陸上自衛隊の災害派遣活動の円滑な実施のみを目的としていたが、令和7年10月から、海上保安庁、警察、海上自衛隊などを新たに委員に加え、多様な災害応急対策等の実施が図れるよう体制を強化した。

### ≪北九州市大規模災害対策連絡会の参加組織≫

組 織
門司海上保安部
若松海上保安部
陸上自衛隊第40普通科連隊
陸上自衛隊富野弾薬支処
海上自衛隊下関基地隊
自衛隊福岡地方協力本部北九州地区隊
北九州市警察部
北九州市消防局
北九州市危機管理室

◆ 海上自衛隊多用途支援艦「あまくさ」について

●多用途支援艦「あまくさ」 前景



●多用途支援艦「あまくさ」 後景



●物資積載用デッキクレーン



●6.3m複合作業艇



区 分	内 容
性能・諸元	<p>1 名 称 多用途支援艦「あまくさ」</p> <p>2 主要な役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・艦艇訓練・射撃訓練支援：的船・標的曳航、潜水艦訓練支援</li> <li>・災害派遣・被災地支援：物資輸送・人員輸送、給水・電力供給、避難所機能</li> <li>・海難救助・事故対応：故障船等曳航・救助、海上防災</li> <li>・港湾作業・重機支援：デッキクレーン、デッキを活用した洋上等物資積下</li> </ul> <p>3 諸 元</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基準排水量：約 980t、ENG：ディーゼル 2 基 2 軸・約 5000 馬力</li> <li>・サイズ：長さ 約 65m、幅 約 12m、喫水 約 3.5m</li> <li>・最大速力：約 15 ノット</li> </ul> <p>4 装 備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・兵装：12.7mm（50 口径）機関銃×2</li> <li>・デッキクレーン（性能非公開）、6.3m 複合作業艇、7.9m 内火艇</li> </ul> <p>5 災害派遣時の活動実績（代表例）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災（2011 年）：人命救助、物資輸送、給水・給食支援等</li> <li>・熊本地震（2016 年）：自衛隊隊員の揚陸、人員・物資輸送等</li> </ul>
取材の ポイント	<p>1 副市長の乗艦時に艦長が出迎え</p> <p>2 デッキにおける装備品等の説明受け</p> <p>※ 旧大連航路上屋 2 階での副市長訓示</p>

◆ 位置図(門司1号岸壁及び旧大連航路上屋)

